

市民共創プロジェクト支援のための タスク構造化システムの試作

Prototyping a task structured system for supporting crowd co-creation project

後藤 誉昌¹ 白松 俊¹

Yasuaki Goto¹ Shun Shiramatu¹

¹名古屋工業大学工学部情報工学科

¹Department of Computer Science, Nagoya Institute of Technology

Abstract: We are developing a system for information sharing and collaboration for supporting crowd co-creation projects along with the JSAI SIG-CCI. Crowd co-creation projects in SIG-CCI are mainly supported by a system "MiraiLab" developed by Sengoku et al. MiraiLab will be expanded to record participants' daily activities with small posts like microblogs or tweets. Our system can structure small tasks, which are included in the participants' small posts, into hierarchies of tasks. The task hierarchies enables participants to grasp overview of the project. We aim to support open collaboration, e.g., between citizens and laboratories in universities, through structuring tasks by our system.

1. はじめに

本研究では、市民共創知研究会[1]の発足に伴い、市民共創支援のための情報共有や協働を支援するシステムを開発する。仙石らが開発する「みらいらば」[2]も市民共創知研究会の市民共創プロジェクトを支援するシステムである。みらいらばでは小さなタスクをツイートのような形で記録するが、本システムでは小さなタスクを階層構造にして全体像を把握可能にする。これにより、例えば市民と大学の研究室との情報共有や協働を活発化させ、オープンイノベーションに繋がれることを目指す。

我々はこれまで、社会課題の解決を目的とした目標共有システム「ゴオルシェア」[3]や、大学の研究室で使うことを目的とした目標共有システム「MissionForest」[4]の開発を行ってきた。これは、教員の指示だけに頼らず主体的に考えて研究できる学生の育成が求められる研究室において、「どのような課題をどのようなアプローチで解決しようとしているか」を日常的に学生自身がデータ化して共有し、他学生や教員とのコミュニケーションを支援し協働を促進するものである。このシステムでは構造化タスクをグラフィカルに表示することのできるツリーエディタ機能があり、これは市民共創プロ

ジェクト支援においても利用することができる。

2. 市民共創プロジェクトの支援システムについて

近年、社会の持続可能性を脅かす多くの課題や複雑な問題が顕在化しつつある。その中には、研究者や技術者が、子供から高齢者を含む市民と協働・共創することにより貢献できる課題が多い。そのようなことから、新たに第二種研究会「市民共創知研究会」が設立された。

市民共創知研究会では、研究会開催地域のコミュニティに積極的に働きかけ、中高生や高齢者を含む市民と研究者との共創を試行する場を提供し、学術研究として広く国内外に発信する場を提供する。さらに、地域横断的あるいは組織横断的に方法論を共有し横展開する等の取り組みや、地域や組織を超えたより大きな集合知に繋がる協働・共創の取り組みを目指している。

本研究会では、「みらいらば」という市民共創プロジェクト支援システムを採用している。これを用いると、学会開催以前からプロジェクトの概要を共有し、おおまかな進捗管理をすることができる。また、プロジェクト参加者の日々のアウトプットやコミュニケーションのための機能として、ツイートの